

令和7年12月定例教育委員会会議録

日 時 令和7年11月27日（木）午後1時30分から
場 所 市役所南別館3階 教育委員会室

出席者

教育委員：児玉教育長、赤松委員、岡村委員、宮田委員

説明者：黒木教育部長、清水教育政策課長、宮崎学校教育課長、湯田生涯学習課長、徳永文化財課長、紺谷美術館長、田之上都城島津邸館長、岩崎高城地域生活課長（代理：四位副課長）

事務局：山崎教育政策課副課長、豊増教育政策課副主幹、関根教育政策課主任主事

1. 開会

教育長より、令和7年12月の定例教育委員会の開催を宣言した。中原委員から欠席の連絡があった旨を報告。本日の委員会終了時刻を午後3時頃と予定している旨を述べた。

2. 市民憲章朗読

3. 前会議録の承認

教育長より、令和7年7月の定例教育委員会の会議録について、確認を求める旨を報告。

4. 会議録署名委員の指名

都城市教育委員会会議等に関する規則第15条により、赤松委員、岡村委員が会議録署名委員に指名された。

5. 教育長報告

5.1 議事の一部非公開について

教育長より、教育長報告の中の虐待案件とその他の項目について、児童生徒の個人情報保護の観点から、地方教育行政組織および運営に関する法律第14条第7項に基づき、会議を非公開とすることが提案され、異議なく承認された。

5.2 学校・地域の頑張り等について

教育長より、11月の報道から以下の事例を紹介した。

- ・児童1600人によるPV撮影について、2027年宮崎国スポ開催に向けたPRビデオ撮影を実施。11月14日に山之口のKUROKIRI STADIUMで市の陸上教室を開催し、その際に全員オレンジのTシャツを着用して撮影を行った。
- ・吉之元小学校にて、児童8人による友達を作るイベント計画について、あいさつの集会を実施し、11月30日の道の駅都城NiQLLでのマルシェ参加、12月7日の吉之元トモダチふやそうフェスティバルに向けて準備を進めている。応募が100人以上来ており、大賑わいになることが予想される。
- ・都城市教委と南九州大学による「学びの多様化学校 来春開校」について、現在の状況を教育政策課から後ほど報告する旨を述べた。

5.3 ヨーロッパ教育視察報告

教育長より、11月9日から16日までのヨーロッパ教育視察について詳細な報告が行われた。

5.3.1 フィンランドの教育システム

信頼とデータの融合による「熟成した」教育エコシステムについて報告。視察した小学校では、多国籍の児童に対応するため13カ国語が必要な環境であり、30年間勤務し6カ国語を話す教師が中心となり、チームティーチングの概念を超えた教室運営が行われており、3人の教師と2人のアシスタントで約30名の児童を指導している。教室がぶち抜きで繋がっており、教師間の連携が密に行われている。アシスタントはほぼ言語に対するケアを行っている。

不登校予防だけでなく、「このクラスは楽しい、つまらないをなくす」ことを目的とし、複数の大人の目で児童を守ることによって心理的安全性を担保している。15分の集中力マネジメントとChromebookの戦略的活用により、同じことは15分以上させない方針を取っている。

インクルージョン政策では、パンダのぬいぐるみなど、子どもたちがほっとする場所を意識的に設置している。

5.3.2 スウェーデンの教育政策

政府主導の脱デジタル化が進行中で、ロッタ・エドホルム大臣が紙への回帰を主張している。読解力低下が問題となり、国際読解力調査でスコアが平均値を下回ったことが背景にある。95億円を投じて紙の教科書への回帰を図っている。スウェーデンは公立学校と現地でフリースクールと

呼ばれる学校（概念としては私立）の2種類があるが、国が両学校に対し全面的に全ての費用を負担している。

視察したクンスカップコーランでは KED プログラムを採用した学校運営をしており、コーチが週1回15分ずつ面談を行い、生徒の意欲向上と状態把握を行っている。生徒は「ログブック」と呼ばれる手帳（デジタルツール）で自身の目標と計画を記録し、コーチはそれを承認・修正する。生徒は自分で時間割を選択でき、学習の責任主体が生徒自身に移譲されている。

インクルージョン政策では、全盲の生徒にマンツーマンでサポーターがつき、点字ディスプレイを活用したり1日一緒に活動したりするなど、テクノロジーと人的支援のハイブリッドである。

5.3.3 英国の教育改革

深刻な教員不足と業務過多に対して、テクノロジーと組織改革を生存戦略として位置づけている。英国の教育ガバナンスは、地方自治体の管理からマルチアカデミー・トラスト（MAT）という地方自治体から独立した団体が政府からの支援を受け、複数の学校を経営する体制へと移行するという歴史的転換期にある。

視察した LEO Academy Trust は、9つの学校、4,500人以上の児童を抱える大規模 MAT であり、Google のエコシステムを全面的に採用してコスト削減とインクルージョンを同時に果たしている。

北アイルランドでは、生成 AI を活用して教員の業務を週10時間程度削減している。保護者対応や個々の児童のニーズに合わせたテキストベース教材の差別化等にも AI を活用している。

5.3.4 各国の比較分析

デジタル戦略について、英国は加速、北欧は教育の質を維持するための是正（ハイブリッド）。インクルージョンのアプローチでは、フィンランドは人間中心、スウェーデンは統合型、英国は技術補完型となっている。

今後の世界の教育トレンドは、デジタルとアナログの最適な配合比率（黄金比）をどこに据えるかが重要になり、またエージェンシー（主体性）の再定義が必要であると分析している。

5.4 生徒指導状況報告

5.4.1 不登校・不登校傾向について

小学校 165 名、中学校 308 名で、全体で 473 名となっている状況を報告。

5.4.2 暴力行為について

暴力行為については、小学校 3 件（器物破損、対教師暴力）、中学校 1 件（生徒間暴力）が発生。中学校の事例は SNS 絡みで他校生徒との間で発生し、被害届が提出されている。

5.4.3 非行等について

5.4.4 交通事故・事故の報告について

小学校 4 件で、内訳は交通事故 2 件と接触事故 2 件。交通事故は、児童の交通ルール違反が原因。接触事故は、運動会練習中の骨折とマムシによる咬傷事故が発生した。

5.4.5 いじめについて

いじめについては、小学校 76 件、中学校 20 件が 10 月に発生。特異な事例として、小学校 4 年生の転校事例、中学校 1 年生の SNS 誹謗中傷事例が報告された。

5.4.6 学級がうまく機能していない状況について

学級が機能していない状況として、小学校で 1 校増加。特性の強い児童への対応が課題となっている。

6. 議事

6.1 報告第 112 号 都城市高城郷土資料館企画展「お城で書初め展」開催要項の制定について

説明（高城地域生活課副課長）：歴史にちなんで書かれた小中学生の書初めを展示し、郷土に対する理解を深めてもらうとともに、郷土資料館の利用促進を図ることを目的とする。展示期間は令和 8 年 1 月 14 日（水）から 2 月 8 日（日）まで。市内在住の小・中学生を対象とし、郷土の歴史を連想させる題材で作品を募集する。1 月 4 日開催の都城芸術文化協会高城支部主催の書初め大会の作品も展示予定。

質疑応答はなく、報告第 112 号は承認された。

6.2 報告第111号 「都城島津邸正月飾り」設置要項の制定について

説明（都城島津邸館長）：新年を迎えるにあたり、冠木門・御門に門松としめ縄の正月飾りを設置する。期間は令和7年12月25日（木）から令和8年1月8日（木）まで。歳神様をお迎えするため、竹、松、南天などの縁起物を用いて製作する。平成23年から実施しており、今回が15回目となる。

質疑応答はなく、報告第111号は承認された。

6.3 報告第110号 都城市立美術館収蔵作品展「修復記念展 美の方舟」開催要項の制定について

説明（美術館長）：作品の修復は美術館の重要な事業であり、文化を未来に繋げるために欠かせない。近年修復した油彩画や日本画を展示し、作品の選定から修復作業までを資料とともに紹介する。会期は令和8年1月6日（火）から2月23日（月・祝）まで。関連行事として担当学芸員によるギャラリートークを2回開催予定。

質疑応答はなく、報告第110号は承認された。

6.4 報告第109号 都城歴史資料館資料収集方針の制定について

説明（文化財課長）：これまで旧都城市および旧4町でそれぞれ収集していた民具や埋蔵文化財等を11ヶ所から6ヶ所に集約することを決定。移設に伴う資料整理の結果、利活用に耐えられないほど破損している資料が約200点確認された。旧市・旧町でそれぞれ同様の資料を受け入れており、重複している資料も多数存在している。今後は収集・除籍の方針を策定し、都城市文化財保護審議会に意見を聞きながら除籍を行い、資料を適切に管理していく。

質問（岡村委員）：学校にも古いものがたくさんあり、壊れているものもある。収集方針を学校にも知らせてもらえるか。

回答（文化財課長）：参考として学校にもお伝えする。

報告第109号は承認された。

6.5 報告第108号 令和7年度第41回都城市高齢者学級振興大会開催要項の制定について

説明（生涯学習課長）：学級生が生き生きと過ごすための生涯学習の機会として、また高齢者学級の内容充実を図るとともに、学級生が自ら学ぶ意欲を高めるために開催。日時は令和8年2月9日（月）午後1時30分からウエルネス交流プラザで開催、約290名の参加を見込む。実践発表は志和池地区の学級長による高齢者学級の取組等について、アトラクション発表は中郷地区による踊り、講演会は一般社団法人都城市北諸県郡薬剤師会会長の落合晋介氏を講師に迎え、「「薬」と「健康な生活」のいい関係づくり」と題した講演を実施予定。

日ごろの高齢者学級では、各地区公民館の自主事業で年に10回程度の講座を開催。講座の内容は、11地区では地区公民館長、4総合支所では社会教育指導員が企画し、案内や引率も行っている。メニューは様々あり、防犯、健康、災害対策などの座学だけではなく美術館鑑賞や野外研修、軽スポーツなど。学級生は日ごろから熱心に楽しく取り組んでいただいている。

質疑応答はなく、報告第108号は承認された。

6.6 報告第106号 都城市結核対策委員の委嘱について

説明（学校教育課長）：令和8年度結核対策委員として委嘱していた共立医院の坂口健次郎医師がご高齢によりご勇退。都城市北諸県郡医師会より推薦を受け、有川呼吸器内科医院の有川圭介氏を後任として委嘱。委嘱期間は令和7年9月24日から令和8年3月31日まで。

質疑応答はなく、報告第106号は承認された。

6.7 報告第107号 令和8年度都城市立小中学校の入学式の期日について

説明（学校教育課長）：都城市立学校管理運営規則第15条の規定に基づき、中学校および笛水小中学校は令和8年4月9日（木）、小学校は令和8年4月13日（月）、都城市立幼稚園は令和8年4月14日（火）と定めた。

質疑応答はなく、報告第107号は承認された。

6.8 議案第20号 令和7年度12月補正予算について

説明（教育部長）：教育委員会関連の補正予算総額は、歳入が1730万6千円、歳出は7353万9千円。

歳入の内容は、教育政策課の屋内運動場空調設備整備事業（小学校及び中学校）、生涯学習課の匿名希望者からの指定寄附金、都城島津邸の都城島津伝承館特別展開催事業における国庫支出金を計上し、高城地域生活課の物価高騰の長期化に対する県支出金を増額し、それに伴う公立幼稚園保育料（施設型給付費分）を減額するもの。

歳出の主な内容は、教育政策課の教育総務管理費（小学校及び中学校）における物価高に伴う電気料の増額及び学校施設等の管理運営等の予算組替、生涯学習課の指定寄附に伴う図書購入費増額、文化財課の埋蔵文化財保存活用整備事業における歴史シンポジウム講師に係る旅費不足に伴う予算組替、学校給食課の都城学校給食センターにおける電気料増額及び高崎学校給食センターにおける修繕料増額、美術館の物価高における電気料増額、都城島津邸の屋外トイレ漏水の修繕料増額など。

質疑応答はなく、議案第20号は承認された。

7. その他

7.1 外国人市民対応に関する庁内連絡会の開催について

説明（学校教育課長）：7月の総合教育会議での提言を受け、11月5日に外国人市民対応に関する庁内連絡会を開催。地域振興課国際化推進室、商工政策課、学校教育課、都城市国際交流協会が参加し、現状を共有。今後は各課や国際交流協会が連携し、横断的な体制を整備していくことを確認。

7.2 各種表彰式の日程について

学校教育課長より以下の日程が報告された

- ・精励賞表彰：1月16日（金）ウエルネス交流プラザ
- ・プレゼンコンテスト：2月7日（土）高崎福祉保健センター
- ・教育論文表彰式・研究所発表・閉所式：2月16日（月）高城生涯学習センター

7.3 はたちの集いについて

説明（生涯学習課長）：はたちの集いの案内と各委員の担当会場について説明。駐車場の案内図等を配布し、服装は通常通りで良い旨を伝達。

7.4 学びの多様化学校設置に係る進捗状況について

説明（教育政策課長）：11月4日および9日に保護者説明会を開催し、2日間合わせて子ども77名の家族が参加。事前相談会の申し込みを受け付けており、11月26日時点で14名から申し込みがあった。12月に体験活動と面談を実施予定。1月に教育相談を実施し、1月30日までに入学申請書を提出、2月中旬に結果を通知する予定。

質問（教育長）：体験活動面談はどこで行うのか。

回答（教育政策課長）：南九州大学で実施する。実際の教室等は工事中のため、南九州大学の施設を借りて行う。

質問（赤松委員）：事前相談会の申込みは、多様化学校に転入学したいというものか。

回答（教育政策課）：体験活動・面談への申込みである。転入学するためには、体験活動・面談を必須としている。

8. 今後の予定

事務局から、12月及び1月のスケジュールについて説明があった。

12月17日：精励賞表彰選考会（赤松委員）

1月3日：妻ヶ丘地区はたちの集い（岡村委員）

1月4日：五十市地区はたちの集い（中原委員）

祝吉地区はたちの集い（赤松委員）

1月7日：1月定例教育委員会

1月8日：学校経営ビジョン協議及び教職員評価に伴うフィードバック

1月9日：学校経営ビジョン協議及び教職員評価に伴うフィードバック

1月11日：ウエルカム会場はたちの集い（教育長、宮田委員）

1月13日：学校経営ビジョン協議及び教職員評価に伴うフィードバック

1月14日：学校経営ビジョン協議及び教職員評価に伴うフィードバック

1月15日：学校経営ビジョン協議及び教職員評価に伴うフィードバック

1月16日：精励賞表彰式

9. 閉会

教育長から、令和7年12月定例教育委員会の閉会が宣言された。令和7年7月の定例教育委員会会議録については12月12日を日途に確認し、修正があれば事務局に連絡することとした。

この会議録は、真正であることを認め、ここに署名する。

署名委員

署名委員

書記

教育長